

Kipper the Clown 「ピエロのキッパー」 (69語)

子どもたちは、大人をサーカスでもてなしています。大人たちからはほほえみがこぼれます。子どもたちは大人を一生懸命楽しませようとしているのです。Kipper the Clown は中学生や高校生からも人気がある作品です。キッパーに、はらはらドキドキさせられるファンが多いのです。

おうちで遊ぼう

●おもしろいのは

- 1) CDを聞く。
- 2) 子どもたちがしている中で、一番おもしろいと思う所はどこでしょう。
- 3) 決まったら、“I like this page the best.” 「このページが一番好き。」と言いましょ。教室で人気があるのは、何といっても p.14 から p.16 です。

グループで遊ぼう

●Lを探せ

この本にはたくさん L の発音が出てきます。それを練習してゲームをしていきましょう。

- 1) 本に出てくる L が含まれる単語を練習します。clown, pulled, leg, laugh, Wilma, look, looked などが出てきます。
(Lは舌の先端を前歯のちょうど裏に押し付けて、はねるように発音します。一方 R は口のどこにも舌をつけずに発音しましょう。)
- 2) ペアを作ります。
- 3) それぞれの右手(または左手)を二人の間に差し出します。
- 4) CD をかけます。
- 5) L の音が聞こえたら、相手の手をすばやくたたきます。自分の手をたたかれない

ように逃げて、同時に相手の手をたたきます。たたいた方が勝ちます。

教室で:

- 1) Let's practice the pronunciation of "L", clown, pulled, leg, laugh, Wilma, look, looked.
(Press the tip of your tongue at the back of your front teeth.)
- 2) Make pairs.
- 3) Put your right hand in front of you.
- 4) Play the CD.
- 5) When you hear the sound "L", slap your partner's hand but try to escape from your partner. The person who hits the partner wins.

1	The children put on a circus.	子どもたちがサーカスをしています。
2-3	Kipper was a clown. Floppy pulled his leg.	キッパーはピエロです。 フロッピーは足をひっぱります。
4-5	Chip was a strong-man. He made everyone laugh.	チップは力持ち。 みんなを笑わせます。
6-7	Wilma and Biff did gymnastics.	ウィルマとビフは体操をしています。
8-9	Everyone had a drink. "What a good circus!" said Mum.	みんな飲み物を飲みました。 「なんて素晴らしいサーカスなのでしょう」とママが言いました。
10-11	Wilf was a stuntman. Kipper was fed up.	ウィルフはスタントマンです。 キッパーはうんざり。
12-13	He wanted to be a stuntman. "Look at me!" he said.	スタントマンになりたいがっていたのです。 「見ててね！」キッパーが言いました。
14-15	Everyone looked at Kipper. Oh no!	みんながキッパーを見ていました。 あ～あ。
16	"I'm a clown, after all," said Kipper.	「やっぱりピエロだもの」とキッパーが言いました。

Strawberry Jam 「いちごジャム」 (76語)

春といえば「いちご狩り」やお花見です。子どもたちにとって、好きなだけ自分で摘んでその場でも食べられるいちご狩りは魅力的です。

おうちで遊ぼう

●ジャム作り

いちごが新鮮な時期に、ジャムを作ってみましょう。サイズは小さくても新鮮なものだと風味豊かでおいしくジャムができます。生クリームとつぶしたイチゴを冷凍して、何度かかきまぜながらアイスクリームを作ってもおいしいです。

- 1) CDを聞きます。
- 2) 本のラストでは traffic jam「交通渋滞」とjam「ジャム」をひっかけていますが、ここではジャム作りをしましょう。
 - 1) “Wash Strawberries.”「いちごを洗う。」
 - 2) “Drain well.”「よく水を切る。」
 - 3) “Put strawberries in a pan with sugar and 1 tablespoon lemon juice.”「なべにいちごを入れ、砂糖とレモンを加える。」
 - 4) “Boil uncovered, until jam is thick.”「ふたをせずに、とろりとするまで煮る。」
 - 5) “Quickly skim of foam.”「あわを取り除く。」

ジャムを煮ていると部屋全体に甘すっぱい香りが漂ってきて、なんとも幸せな気分です。

グループで遊ぼう

●春夏秋冬

いちごはハウス栽培もあり、一年中売られています。しかし、果物には旬があります。それを子どもたちに知ってもらいたいですね。

- 1) CDを聞きながら本を読みます。
- 2) 子どもたちにイチゴ摘みに行ったことがあるか聞いてみましょう。“Have you been to strawberry pick up?” 「いちご摘みに行ったことがある？」いちごの他にも、何かフルーツ狩りに行ったことがあるかどうか聞いてみましょう。サクランボ、ぶどう、みかんなど出てくるのではないのでしょうか。それらの季節がいつだったか、思い出してもらいましょう。季節の言い方: spring, summer, autumn(英)/ fall(米), winter くだもの名前: bananas, grapefruits, cherries, grapes, watermelons, peachesなどを練習して確認しておきます。
- 3) おままとセットを使って、くだもの狩りをします。おもちゃのフルーツを真ん中に広げで、それを囲むように子どもたちは丸くなりすわります。
“It’s spring.” 「春です。」と大人が声をかけたら、子どもたちは春が旬のフルーツを取ります。
- 4) 何度かくりかえしたら、子どもたちの中から先生役をしてもらいます。
(応用として、2ヒントゲームもできます。ヒントを2つ言ってそのフルーツを取ってもらうのです。例: サクランボ ① Yamagata Prefecture. 「山形県」 ② It’s small and red. 「小さくて赤い。」)

1	Dad wanted to make jam.	パパはジャムを作りたいと思いました。
2-3	He picked some strawberries. They were too small.	いちごをいくつか採ってみました。 どれもちっちゃすぎました。
4-5	Mum took everyone to the pick-your-own. “You can all help,” said Dad.	ママがみんなをイチゴ狩りに連れて行って くれました。 「好きなだけとっていいんだよ」パパが言 いました。
6-7	They all picked strawberries. Kipper put some in his pocket.	みんながいちごを採っています。 キッパーはいくつかポケットにしまいました。
8-9	Chip took the strawberries to the car. The car was locked.	チップはいちごを車へと運びました。 車はロックされていました。
10-11	He forgot about the strawberries.	チップはいちごの事を忘れてしまいました。
12-13	The children had an ice cream. It was time to go home.	子どもたちはアイスクリームを食べていま す。 おうちに帰る時間になりました。
14-15	The car ran over the strawberries. “Oh no!” said everyone.	いちごが車にひかれてつぶれてしまいま した。 「あーあ」みんなが言いました。
16	“Traffic jam!” said Dad.	「車でイチゴジャムができちゃった」パパが 言いました。

The Jumble Sale 「がらくたバザー」 (81語)

The Jumble Sale はキッパーたちの学校のバザーです。気候が温暖な春に大整理をするのは、おうちがキレイになりそうです。

フリーマーケットに出店して、不用品をリサイクルすれば環境にもやさしく一石二鳥です。

おうちで遊ぼう

●フリマに出てみよう

- 1) CDを聞きます。
- 2) もう一度CDを聞きながら、聞こえてきた文章が示すものをイラストの中から探して指さします。
- 3) 子どもたちが選んだいらないおもちゃを、観察してみましょう。同じようなものがおうちにもあるのではないのでしょうか。
- 4) 不用品を探します。不用品を捨ててしまったらゴミになります。しかしリサイクルできれば、また別の人が使うことができます。環境を考える事をお子さんとお話し下さい。

フリーマーケットに実際に出店してみましょう。この本と同じことが起こってしまうかもしれません。

グループで遊ぼう

この CD は、イギリス英語とアメリカ英語の両方が収録されているという理想的な形態です。音のちがいは、聴いて感じ取って覚えていくのが一番効果的です。英語にはいろいろな国のものがあるという事を子どもたちに知ってもらいましょう。このゲームでは、音を楽しんでください。勝ち負けにはこだわらないで、楽しく行いましょう。

●イギリス英語？アメリカ英語？

- 1) CD を聞きます。
イギリス英語とアメリカ英語の両方のトラックを聞きます。
- 1) 2つの英語において、イントネーションや音のちがいで気づいたことを話し合います。子どもたちに違いを感じてもらうのが目的です。何が正しくて、何が誤りということはありません。違いを意識できればよいのです。
- 3) 次にイギリスとアメリカの場所を世界地図で確認します。
- 2) 国旗を人数分用意します。(時間があれば描いてもらいましょう。)子どもたちに2つの国旗を持たせます。
- 3) 大人はCDをかけます。この時にイギリス英語とアメリカ英語の両方から交互に選んで、流します。トラックを選びながら、イギリス英語とアメリカ英語の部分をかかわるがわるCDで聞いてもらいます。
- 4) 子どもたちはCDの声を聞き、イギリス英語だと思ったらイギリスの旗、アメリカ英語だと思ったらアメリカの旗を上にあげて大きく振ります。

1	Mum and Dad were spring-cleaning.	ママとパパは春の大掃除をしています。
2-3	Mum looked in a drawer. Dad threw things out.	ママが引き出しを見ています。 パパが物を出しています。
4-5	The children looked at the junk. They played with the old toys.	子どもたちががらくたをみえています。 子どもたちは古いおもちゃで遊んでいます。
6-7	Mum put the old toys in the car. The children were sad.	ママが古いおもちゃを車にいれました。 子どもたちは悲しそうです。
8-9	They all went to the jumble sale.	みんなそろってがらくた市に出かけました。
10-11	The children wanted to buy something. “What a lot of junk!” said Wilf.	子どもたちは何かを買いたいと思いました。 「なんてたくさんのがらくたがあるのだろう」ウィルフがいました。
12-13	The children saw their toys. They counted their money.	子どもたちは、自分たちのおもちゃを見ました。 お金を数えてみました。
14-15	It was time to go home. “What’s in the bags?” said Mum.	家に帰る時間になりました。 「袋には何が入っているの？」ママが聞きました。
16	Oh no!	あら、まあ！

At the Seaside 「海辺で」 (84語)

せっかく行った旅行先で、宿泊を予定していたホテルに泊まれなかったキッパーたち。でも、結局はもっと心地よい場所に泊まれてひと安心。

おうちで遊ぼう

●ホテル探し

- 1) CDを聞きます。
- 2) いったいいくつの宿泊施設が出てくるのでしょうか。数えながら、そこがよいか悪いかその理由を考えてみましょう。理由の例は()です。

- ① Seaview Hotel (火事)

例) It was on fire.

- ② Palace Hotel (高い)

例) It was expensive.

- ③ Grand Hotel (パパがいやがる)

例) Dad did not like it.

- ④ Guest House (満室)

例) There was no vacancy.

- ⑤ A bus (快適)

例) It was superb.

子どもはどこに泊まりたいと思うでしょうか。

グループで遊ぼう

●コメント

本当に火事に遭ってしまったら、それは大事件です。でも、実際に火事に遭う可能性はそれほど高くありません。火事について、また火事にまつわる表現を学ぶには絵本がぴったりです。

いろいろなホテルも出てきます。お話を注意深く聞くのは大切です。聞いた事を覚えているかどうか、チェックしてみましょう。

- 1) CDを聞きます。
- 2) At the Seaside の p.2 から p.9 を見ていきます。文字を見せずに、見開きのページで何が起こったのかを聞いていきます。

例) p.2 What happened? 「何が起こったの？」

p.4 Why didn't they stay at Palace Hotel?

「なんでみんなはパレスホテルに泊まらなかったの？」

p.6 Why didn't they stay at Grand Hotel?

「なぜグランドホテルに泊まらなかったの？」

p.8 Why didn't they stay at the Guest House?

「なぜゲストハウスに泊まらなかったの？」

p.15 Where did they stay? 「どこに泊まったのでしょうか。」

- 3) 次に気に入った1ページを選んで、コメントを書きます。はじめから長い文章を書くのは大変なので、1文から書きはじめましょう。コメントを書いてもらうには、ヒントとなるものを示してあげると書きやすいです。

I like ~. 「私は～が好き」 I don't like ~. 「私は～が好きでない」

I want to ~. 「私は～したい」

I don't want to ~. 「私は～したくない」 It's too expensive. 「高すぎる」 It stinks.

「臭い」

例)p.6&7 They looked at an old hotel. They didn't stay because it was dirty. I don't like the dirty hotel. こんなふうに1文書き足します。子どもの意見をひとことでよいので聞いていきましょう。

- 4) 子どもたちが、それぞれお友達の前で3)のノートを見せながら発表します。みんなの前で発表する訓練を、小さいうちからつんでおくのは効果的です。

1	The family went on holiday. Wilf and Wilma went, too.	一家は休暇で旅行しています。 ウィルフとウィルマも行きました。
2-3	The hotel had burned down. "Sorry!" said the man.	ホテルが焼けていました。 「申し訳ない」男の人が言いました。
4-5	They looked at a new hotel. "Too expensive," said Mum.	新しいホテルを見に行きました。 「高すぎるわ」ママが言いました。
6-7	They looked at an old hotel. "No, thank you," said Dad.	古いホテルも見に行きました。 「やめておこうよ」パパが言いました。
8-9	Every hotel was full. "Sorry!" said everyone.	どのホテルも満室でした。 「申し訳ございません」とどこも言います。
10-11	They had to go home. But the car broke down.	おうちに帰るしかありません。 それなのに、車がこわれてしまいました。
12-13	A farmer stopped his tractor. "Can I help?" he said.	農家の人がトラクターを停めてくれました。 「どうしましたか？」農家の人と言いました。
14-15	The farmer had a bus. "You can stay here," he said.	農家の人にはバスを持っています。 「ここにいてもいいですよ」農家の人と言いました。
16	"What a good holiday!" said Wilf.	「なんてよい休日なんだろう」ウィルフはいいました。

Kipper's Idea 「キッパーの思いつき」 (78語)

いじめやかからかわれる事は、学校でデリケートな問題です。普通ならば落ち込んでしまう所を、キッパーは持ち前の明るさで、なんなく切り抜けてしまいます。

おうちで遊ぼう

●いじめない

- 1) CDを聞きます。
- 2) p.7を開けます。もし、この絵が自分だったらどうするでしょうか。子どもといじめについて話しましょう。いじめられないためには、我慢しないでいやだと誰かに言うことが必要でしょう。いじめられてしまったら、強い態度で立ち向かうには勇気がいります。しかし、なかなか言い出せずに悩んでしまう場合もあります。子どもには、いじめに加担しないように、何かあったらすぐに言えるように普段から伝えておきましょう。

グループで遊ぼう

●いじめをやめよう

メイ先生のようにいじめの前兆が見られたら、すぐに対処することが大切です。

この本では、からかってキッパーの絵を描いた子どもたちに対して、平和的に解決策が見出されています。

- 1) CDを聞きます。
- 2) p.7 から p.9 までを注意深く読みます。子どもたちに問題点を聞きましょう。
例) What are the girls doing? (p.7) 「女の子たちは何をしていますでしょう」They are teasing Kipper.「キッパーをからかっています」
Why was Mrs May cross?(p.9) 「なぜメイ先生は怒っているのでしょうか」

Because the girls were drawing Kipper on the wall.「壁にキッパーを描いてしまっているからです」

普通なら自分を褒めに描かれたらいやなものです。他人に不快を与えない、仲間はずれにしないなど、いじめをなくすにはどうしたらよいか考えましょう。

3)p.11 Kipper had an idea. 「キッパーはあることを思いつきました」のキッパーの所を、子どもたちの名前にします。自分ならばこのシチュエーションでどうするかを文章か絵でかいてみましょう。

1	Dad took Kipper to school.	パパはキッパーを学校に連れていきました。
2-3	They went past the library. A lady was painting the wall.	ふたりは図書館の前を通り過ぎました。 女の人が壁塗りをしていました。
4-5	Kipper ran into the playground. He wanted to play.	キッパーは校庭にかけていきます。 キッパーは遊びたいのです。
6-7	There was a drawing on the wall. It was a drawing of Kipper.	壁にいたずら書きがありました。 キッパーの顔でした。
8-9	The wall looked a mess. Mrs May was cross.	壁は汚れた感じでした。 メイ先生は怒りました。
10-11	The children were painting. Kipper had an idea.	子どもたちは絵を描いています。 キッパーはあることを思いつきました。
12-13	Miss Green drew circles on the wall. The children painted faces.	グリーン先生が壁に円を描いていきます。 子どもたちは顔を描いていきます。
14-15	The wall looked good. Everyone liked it.	壁がよくなりました。 みんなが気に入りました。
16	“Good for Kipper!” everyone said.	「キッパーのおかげね！」みんなが言いました。

The Snowman 「雪だるま」 (76語)

雪が降ると子どもたちは大喜びです。大人は雪かきをするのが結構大変でもあります。雪国に住んでいる人にとっては、雪どけの春は待ち遠しいものです。歩く時に、積もる雪をブーツで踏みしめて進まなくてよいのは軽快な気分なのです。

おうちで遊ぼう

雪遊びをしていて雪がブーツに入ってしまうと、つま先がじーんと冷たくなり冷えてしまいます。Try not to get snow inside your boots.「ブーツに雪が入らないようにね」なんて言っても、子どもは寒さより、遊ぶ楽しさでいっぱい。暖かい室内に戻って、手足がかゆくなったりすることもしばしばです。

●なりきり雪遊び

- 1) CD を聞きます。
- 2) CD を流しながら、1ページずつ一時停止します。各ページごとに、絵を見ながら Wilf, Wilma, Biff, Kipper, Floppy の様子をそのまま絵の通りジェスチャーをしてみます。
- 3) 大人が誰かになり、あるページのジェスチャーをします。子どもはそのページを開きます。

今度は子どもに、お気に入りの登場人物になってもらいます。大人が絵本を開き子どもに見せながら、CD をかけます。子どもは自分の決めた登場人物と、全く同じポーズを本と同じように取ります。何ということがないアクティビティーですが、教室で行ったとき生徒たちが大変盛り上がりました。

グループで遊ぼう

●インタビュー

- 1) CDを何度も聞き、内容を理解します。
- 2) 子どもたちからインタビューされる人を選びます。残りの人はインタビュアーになります。
- 3) インタビューされる人は、その人物になりきって答えます。雰囲気を出すために、何かをマイクの代わりに持ってインタビューをしましょう。
- 4) 登場人物が言いそうな事をいくつか練習しておく、インタビューを受けた時に返事がスムーズにできます。

たとえば:

ウィルフのパパ: “Wow, I was surprised.” 「いやあ、びっくりした」

ウィルマのママ: “Nice pictures.” 「よい写真だわ」

フロッピー: “Let me try.” 「やらせて」

ビフ: “Rolling is fun.” 「ころがすのは楽しいわ」

1	It was snowing. “Hooray,” said the children.	雪が降っています。 「やったあー！」と子どもたち。
2-3	They saw Wilf and Wilma. Wilf was sweeping the snow.	ウィルフとウィルマを見つけました。 ウィルフは雪かきをしています。
4-5	Biff had a good idea. She made a giant snowball.	ビフはよいことを思いつきました。 大きな雪だるまを作ったのです。
6-7	Everyone pushed the snowball. Floppy barked and barked.	みんなで雪だるまを転がしました。 フロッピーはほえています。
8-9	Wilf had an idea. He wanted to play a trick.	ウィルフがあることを思いつきました。 いたずらをしたかったのです。
10-11	The children made a giant snowman.	子どもたちは大きな雪だるまを作りました。
12-13	Wilf’s dad opened the door. He saw the snowman.	フィルフのパパがドアを開けました。 雪だるまがいました。
14-15	Wilma’s mum took a photograph. The snow fell off the roof.	ウィルマのママが写真を取りました。 雪が屋根から落ちました。
16	“Six snowmen!” said Wilma’s dad.	「雪だるまが6つ！」ウィルマのパパが言いました。

Glossary 本文に出てくることば(アルファベット順)

a lot of ~	たくさんの～
after all	結局
broke down	こわれた
burn(ed) down	焼け落ちる(た)
bus	バス
buy	買う
car	車
circus	サーカス
circles	円
cleaning	そうじ
clown	ピエロ
count(ed)	数える(えた)
drawer	引き出し
drawing	絵
drink	飲み物
everyone	みんな
expensive	高い
faces	顔
fell	落ちた
forgot	忘れた
full	いっぱい
giant	ジャイアント
go home	家に帰る

good	よい
gymnastics	体操
holiday	休暇
Hooray	やったー
idea	考え、アイディア
It was time to-	—をする時間だった
jam	ジャム
jumble	がらくた(古くなった本、くつ、衣服など)
junk	がらくた(価値のないもの)
lady	女の人
laugh	笑う
leg	脚
locked	鍵がかかった
look good	よく見える
make	作る
mess	めちゃくちゃ
money	金
new	新しい
old	古い
open(ed)	開ける(開けた)
paint(ing)	描く(描いている)
past	～を通り過ぎて
photograph	写真
picked	摘んだ
pick-your-own	採り放題の

play a trick	いたづらをする
playground	校庭
pocket	ポケット
pull	引く
push(ed)	押す(押した)
ran into	かけていった
ran over	ひかれた
roof	屋根
sad	悲しい
sale	セール
saw	見た
small	小さな
snowball	雪の玉
snowmen	雪だるま
snowing	雪降り
something	何か
sorry	ごめんなさい。残念に思う。
stay	泊まる
stop(ped)	とめる。やめる。(とめた、やめた)
strong-man	強い人
sweep(ing)	掃く(掃いている)
traffic jam	交通渋滞
thank you	ありがとう
their	かれらの
things	物

threw	投げた
time	時間
took(take) A to B	A を B に連れていった(いく)
toys	おもちゃ
tractor	トラクター
You can all help.	採り放題

各ストーリーの関連語句

Kipper the Clown	
演技監督	circus leader
古いマットレス	old mattress
ポテトチップス	crisps
ビスケット	biscuits
ペダル	pedal
Strawberry Jam	
ほうれんそう	spinach
馬小屋	barn
The Jumble Sale	
屋根裏	roof space, attic
取り出す	unpack
At the Seaside	
空き	vacancy
湾	bay
～と姉妹都市になる	be twined with～

ペット禁止	No pets
港	port
Kipper's Idea	
図書館	library
いじめ	bullying
～をいじめる	pick on～
いじわるな女の子たち	nasty girls
The Snowman	
雪の玉をころがす	roll a snowball
とんがった鼻	a pointed nose
シュー	whoosh